一般物性

				注	注 入 剤				シ ー ル 材		
項目	単位		ウボンド -低粘度		ウボンド -中粘度		カボンド プ2	クラック タイ	フボンド プ3	ボンドトップ WG	ボンドトップ クイック
		夏用	冬用	夏用	冬用	夏用	冬用	夏用	冬用	通	年
混合比(主剤:硬化剤)	_	_	: 1 量比)		: 1 量比)	4: (重量			:3 遣 比)	2:1 (重量比)	1:1 (体積比)
硬化物色		淡黄色~	~赤褐色	乳E	白色	黄褐	冒色	黄衫	冒色	グレー色	グレー色
適合規格※1		1	種	_		2種		3種		_	_
粘度	Pa∙s	8.0	0.6	15.0	12.3	9.6	3.8	0.4	0.5	クリーム状	クリーム状
可使時間※2	min	50	70*	50	120*	60	120	60	130	30	5
チキソトロピック係数	_	-	_	-	_	4.	6	-	_	_	_
収縮率	%	0	.3	3		0.4 1.5		.5	_	_	
引張強度	N/mm	4	48 30		30	10	10.1 15		22	26	
伸び率	%	_		_		60		120		—	—
曲げ強度	N/mm [*]	73		51		_		_		47	46
圧縮強度	N/mm	79		82		_		_		70	76
は善強さ 乾燥面	N/mm [*]	12.0		8.0		9.3		9.7		10.0	10.0
付着強さ 湿潤面	N/mmf	6	.0	5.0		4.7		4.5		7.0	_
付着力耐久性保持率	%	96		96		96 96		6	_	_	

^{※1:} 土木研究センター「コンクリートの耐久性向上技術の開発」

※2: 混合量=150a

※クラックボンド冬用の粘度、可使時間は5℃での値 ※数値は代表値

<u></u>	名	荷	消防法危険物情報		
クラックボンド	タイプ1-低粘度		主 剤:1.33kg/缶 硬化剤:0.67kg/缶	主 剤:第四類第3石油類 硬化剤:第四類第3石油類	
	タイプ1-中粘度	2.0kg/セット	主 剤:1.6kg/缶 硬化剤:0.4kg/缶	主 剤:第四類第3石油類 硬化剤:第四類第3石油類	
	タイプ2	2.016/ 27	主 剤:1.14kg/缶 硬化剤:0.86kg/缶	主 剤:第四類第3石油類 硬化剤:第四類第3石油類	
	タイプ3		主 剤:1.14kg/缶 硬化剤:0.86kg/缶	主 剤:第四類第3石油類 硬化剤:第四類第3石油類	
- 1°1→°	WG	3kg/セット	主 剤:2.0kg/缶 硬化剤:1.0kg/缶	非該当	
ボンドトップ	クイック	1kg/セット 混合用へラ付	主 剤:0.47kg/チューブ 硬化剤:0.53kg/チューブ	非該当	
CRBハクリシール		320ml/本	10本/箱	非該当	
クラックボンド注入	22	100個	_		
CRBインジェクタ-	_	100個	_		

アオイ化学工業株式会社

本 社/〒731-0141 広島市安佐南区相田1丁目1番26号 TEL(082)877-1341(代)

http://www.aoi-chemical.co.jp

東 北 支 店/TEL(022)384-3171(代) FAX(022)382-1260 関 東 支 店/TEL(03)3993-9311(代)

FAX (03) 3993—9315 左 店/TEL (06) 6631—2060(代) FAX (06) 6631—2170 支 店/TEL (082) 877—7171(代) FAX (082) 877-5280

店/TEL (092) 623-5556(代) FAX (092) 623-5559 所/TEL (025) 280-0131(代)

FAX (025) 281-8338

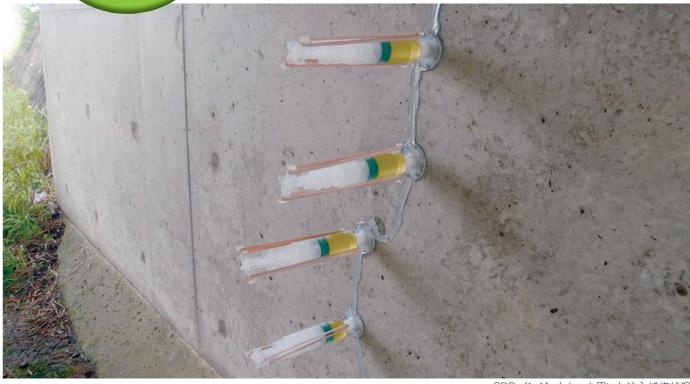
FAX (082) 879-7260 広島 工 場/TEL(0826)46-3511(代) FAX(0826)46-2843 東京工 場/TEL(048)584-2511(代) FAX (048) 584-2510 北京支社/TEL +86 (10) -65584184 アオイテクノサービス㈱/TEL (082) 877-0017(代) アオイコーポーション㈱/TEL (082) 877-7336(代) アオイドリーム(株) /TFI (082)831-1345(代) 台 湾/奥億化學建材股份有限公司 シンガポール/AOI KAGAKU (SINGAPORE) TFI (65) 6659-1137 (代)

構造物の補修工法

低速・低圧で クラックの深部まで 注入が可能!

クラックボンド[®]工法

クラックボンド工法は、コンクリート構造物に発生したクラッ ク中にエポキシ系の注入剤 (クラックボンド) を低速・低圧で注 入する工法です。クラックの深部まで注入剤を浸透させる事で、 構造物の耐久性を向上させます。



▲ CRB インジェクターを用いた注入補修状況

ば速・低圧で深部まで注入可能

ゴム、バネの反発復元力が注入剤を低圧でクラックの深部まで、 ゆっくり送り続けます。

🔒 注入作業が簡単

CRBインジェクターを用いた注入では、特殊な器具を必要と せず、簡単に注入出来ます。

◎ 4VOCの含有は基準値以内

トルエン、エチルベンゼン、キシレン、スチレンといった揮発性 有害物質は日本接着剤工業会設定の基準値以内の為、屋内での 使用も可能です。

適合品:ボンドトップWG、ボンドトップクイック

(注入剤を連続補給可能

クラックボンド注入器では、注入剤の補充は注入ノズルにより 連続的に行えます。

■ 硬化状態を簡単に確認出来る

注入器具内に残った樹脂を確認する事で、クラックに注入され た樹脂の硬化状態を目で確認する事が出来ます。

⑥ F☆☆☆☆認定

ホルムアルデヒドを含有していませんので、コンクリート構造物 の屋内での補修も可能です。

認定品:ボンドトップWG、ボンドトップクイック

- ●コンクリート建物/ビル、集合住宅、倉庫など(壁、柱、梁、スラブ)
- ●各種設備関係/サイロ、タンク、煙突その他
- ●コンクリート舗装/高速道路及び飛行場のエプロン
- ●橋梁·鉄道/橋脚、橋台、高欄、床版、桁、トンネルほか
- ●上下水道その他用水/各種水槽、水路
- ●港湾・河川/護岸、桟橋、ダム、砂防ダム、堰堤等



NEXCO3社規格「構造物施工管理要領」

使用材料

●注入剤

クラックボンド タイプ1ー低粘度

推奨ひび割れ幅=0.5mm以下

土木補修用エポキシ樹脂注入材1種適合品※1 エポキシ樹脂系ひび割れ注入材1種適合品※2 混合比 主剤:硬化剤=2:1(重量比)

湿潤面接着良好

クラックボンド タイプ2

土木補修用エポキシ樹脂注入材2種適合品※1 エポキシ樹脂系ひび割れ注入材2種適合品※2 混合比 主剤:硬化剤=4:3(重量比)

湿潤面接着良好







クラックボンド タイプ1ー中粘度

推奨ひび割れ幅=0.5mm以上 混合比 主剤:硬化剤=4:1(重量比)

湿潤面接着良好

クラックボンド タイプ3

土木補修用エポキシ樹脂注入材3種適合品※1 エポキシ樹脂系ひび割れ注入材3種適合品※2 混合比 主剤:硬化剤=4:3(重量比)

湿潤面接着良好





※1土木研究センター「コンクリートの耐久性向上技術の開発」 ※2 NEXCO3社「構造物施工管理要領」

●シール材

ボンドトップWG

JAIA F☆☆☆☆ 混合比 主剤:硬化剤=2:1(重量比)

湿潤面接着良好



ボンドトップWG

ボンドトップクイック

JAIA F&&&& 混合比 主剤:硬化剤=1:1(体積比)

遠硬化タイプで施工時間の 短縮可能

速硬化タイプですので、台座取り付けを 短期間で行う事ができ、施工時間が短縮で きます。



ボンドトップ クイック

CRBハクリシール

硬化物色:グレー

😇 施工が簡単

カートリッジタイプなので、混合などの作 業手間が省けます。1本で約3m分の施工が 可能です。

施工後のはく離が可能

優れた剥離性を有していますので、施工 後にグラインダー等にて除去する必要は なく、被着体表面を傷つけず、施工出来ます。



CRBハクリシール

●注入器

クラックボンド注入器

壁厚が大きい場合に有効です。

- ·最大液量=45ml
- ·最大圧力=0.30MPa
- ・材料の連続供給が可能。
- ·バネの復元力により低圧力注入。



CRBインジェクター

壁厚が小さい場合に有効です。

仮固定と解除が ワンタッチで 簡単!!

(特許出願中)

- ·最大液量=50ml
- ·最大圧力=0.11MPa
- ・施工性が抜群。 ゴムの復元力により
- 低圧力注入。
- ・画期的なピストンの仮固定方法。

注入圧力と注入器の取り付けピッチの目安

●注入圧

クラックボンド注入器の場合

注入圧 (MPa)	容器変化長 (mm)	液量 (ml)
0.13	6	22
0.17	10	30
0.21	13	37
0.25	15	42
0.30	16	45

●注入器の取り付けピッチ

(単位:cm)

クラック幅	壁 厚 (cm)					
(mm)	10	15	20	25	30	
0.05	15	25	35	45		
0.1					55	
0.2						
0.3					50	
0.4				40	40	
0.5				35	35	
0.75			30	30	30	
1.0			25	25	25	
1.5		20	20	20	20	
2.0		15	15	15	15	

※注人器への注人剤注人は下から順番に行います。

CRBインジェクターの場合

注入圧 (MPa)	液量 (ml)
0.07	10
0.08	20
0.09	30
0.10	40
0.11	50



▲クラックボンド注入器を用いた注入補修状況

施工上の注意

- (1)台座を接着する際にはシール材で注入口をふさがない様に して下さい。シール材でボンドトップクイック、CRBハクリシー ルを使用する際には、下地が濡れていない事を確認して下さい。
- (2)クラックボンド、ボンドトップはエポキシ製品のため、皮膚に触 れたり、蒸気を吸入すると皮膚、粘膜障害を起こす事があります。 作業場所は換気を良くし、保護手袋、前掛け等を着用して取 り扱って下さい。
- (3)混合物は、発熱し高温となる事がありますので、直ぐに使用し て下さい。CRBハクリシールは、湿気硬化タイプのシール材 のため、開封後は速やかに使用して下さい。
- (4)直接手に触れた場合は、石鹸や磨き粉を付けて水で良く洗い 流して下さい。
- (5)使用後の器具類は、硬化する前に溶剤で洗浄して下さい。
- (6)製品を保管する際には、直射日光を避け、冷暗所に保管して 下さい。
- (7)製品を使用する前には各製品に添付してある取扱説明書を 確認して下さい。
- (8) その他安全性に関する詳細は、製品安全データシート (MSDS) を確認して下さい。

●クラックボンド工法による効果

